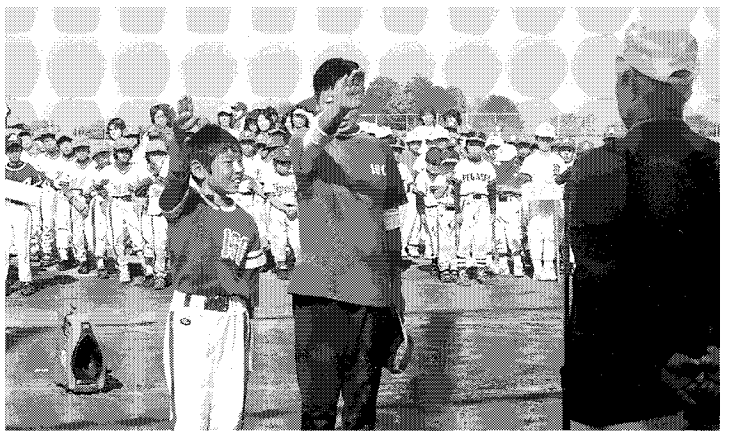
打って走って、母子ら楽しく

トスボール大会に総勢400人参加



第16回母と子どものふれあいトスベースボール大会が、11月5日、鎌倉市の笛田公園野球場で行われ、子どもたちの元気な声が、晩秋の空に響いた。

鎌倉、逗子、藤沢、茅ヶ崎、横須賀、三浦、横浜から16チーム、選手や役員ら総勢約400人が参加して熱戦を繰り広げた。

試合に先立っての開会式で、ISGファイターズ（鎌倉）の主将で、稲村ケ崎 小4年の遠藤央剛君とお母さんの衣香さんが、「みんなで仲良く一生懸命頑張ります」とそろって選手宣誓した＝写真。

トスボールは少年野球に情熱を注ぐ、鎌倉の清水直道さんが考案して、全国に普及している。ルールは野球とほぼ同じだが、トスマシンから飛び出すボールを打って得点を競う。

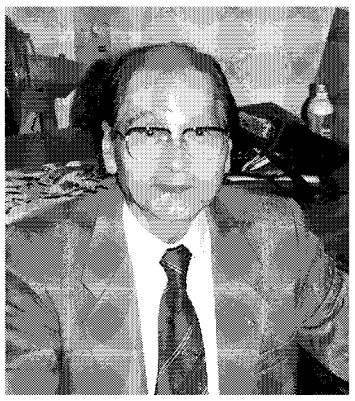
10人の選手の中に小学4年生以下が7、8人、お母さんが2、3人入って試合する。

対戦の結果、逗子の沼間グリーンファイターズが優勝、横浜・磯子の屏風ケ浦クラブが準優勝、藤沢ファイターズ、鎌倉ISGファイターズが3位となった。

ひと

鎌倉市民ギャラリーで日本画の新春展を開く

大竹五洋（おおたけごよう）さん



気品があって、優美にして華麗な美人画の新春特別展が、06年1月4日から10日まで鎌倉生涯学習センターの市民ギャラリーで開かれる。

鎌倉市教育委員会の主催で85年から始まり、鎌倉の人気行事の、22回目の来春は極楽寺に住む日本画家で、ほれぼれする美人画の生みの親、大竹五洋さんの作品展である。

「根気のいる仕事で、一つの作品に100回以上もの塗り合わせを行うこともある。塗っては乾かし、また塗っては乾かす作業を繰り返すが、満足のいくものが出来たときは格別」

25歳のとき、北鎌倉に住んでいた伊東深水画伯（1898―1972）の内弟子になった。画伯は当代浮世絵師を自負し、健康的な女性を数多く描いたことで知られる。ここで13年間、修行して独立する。

「師のスケッチから本画制作のほとんどに、助手として携わったが、構図や色彩、筆づかいといった技法はすべて先生のやることを見ながら学んだものです」

静岡の遠州・森町に生まれた。雑誌の口絵などを見て美人画に興味を覚えた。

「絵かきになりたい」の夢を捨て切れず、家族の反対を押し切って門をたたいたのが、大磯に住んでいた安田靫彦画伯である。

携えていった2点の絵を見て「私より、いい先生がいる」と紹介してくれたのが、深水画伯という。弟子入りして2年目に「五洋」の雅号をいただいた。

「世界の五つの海をまたにかけて活躍するようにと聞かされた。洋の文字のさんずい偏は『深水直系』の意味がある。あの感激は忘れません」

以来、日本画家として半世紀余を歩み続ける。日本表象美術協会（日象展）創立に参加、評議員、理事を経て80年に退会する。各種の受賞歴や個展は数え切れない。

97年から国際親善協会のジャパンウィークに参加、欧州の各都市で毎年、開かれる文化交流の日本画展に出展している。

11月末、ナポリでのこの催しの団長として、スケッチの旅をしてきた。

鎌倉市内で開いている日本画教室の門下生たちに「絵には画品がなければならない。絵の具を塗るのではなく筆で描く」と深水画伯の言葉を優しく説く。

画伯が名付け親という長男の正芳さんが、直系の画業を継ぐ。傘寿（80歳）とはとても思えないほど若々しい。屈託のない人柄にファンは多い。

ママさんバレーボール深沢小が優勝

母親たち、はつらつとプレー

鎌倉市PTA連絡協議会（安齊洋一会長）主催のママさんバレーボールの大会が11月中旬、深沢小、中学の2会場で行われ、20チーム、約3百人が参加した。

大会は会員相互の親睦を深めるため1982年から始められた。98年から、ドッジボールと隔年で行なわれ、バレーボールは今回20回目。

鎌倉市内の小学13校と中学7校が参加。優勝は深沢小、準優勝稲村ケ崎小、3位が腰越小と西鎌小。早朝から女学生にかえったような母親たちが、コートの中ではつらつとボールを追った＝写真。

市P連では、8月に父親チームのソフトボール大会を開催、今月、「文化のつどい」の演奏会も予定している。（6面に関連記事掲載）

ばしご車も出動して消防訓練

大船の大規模店「コーナン」で

秋の火災予防運動中の11月9日、鎌倉市消防本部は同市岡本のホームセンター「コーナン鎌倉大船店」で消防訓練をした＝写真。昨年暮れ、東京などで大規模店の連続火災があったのを受けて行った。

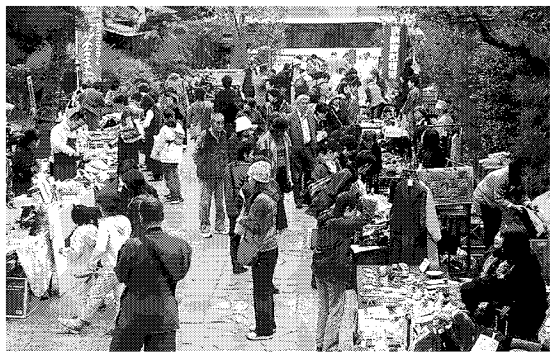
コーナンは昨年12月に開店した。鉄筋2階建て延べ面積3万8千平方㍍の大規模物品販売店。1階の従業員休憩室から出火、2階屋上で3人が救助を求めているとの想定で展開した。

大船消防署、玉縄、腰越、深沢出張所、消防13分団などからポンプ車、救助工作のはしご車合わせて6車両が、サイレンを鳴らして出動、37㍍のはしごを伸ばして救助したり、放水した。

発煙筒の煙りが立ち込める中、消防署員や自衛消防隊員ら約50人がてきぱき動き、上々の訓練だった。

もの、ひととの出会い・ふれあい

にぎわった北鎌倉の匠の市と展示



11月上旬の2日間、北鎌倉で手作り品の匠の市や工芸品などの展示があり、近隣の人たちに観光客も交じってにぎわった＝写真。

ものをつくることを仕事とする人たちが、地域の交流と相互理解のために01年から春と秋に行っており、10回目。

円覚寺、東慶寺、浄智寺の参道に土鈴、小物、手芸品、有機野菜などの市もでた。

公会堂や各工房での鎌倉彫、人形、絵画や陶芸などの作家の作品展示も好評だった。寺の書院でオカリナやギターなどの演奏会も行われた。

今回の催しに合わせて、「歩いて知る北鎌倉」の地図もでき、北鎌倉周辺の美術館、ギャラリー、工房の位置が示されている。A3判、一部20円。問い合わせは「北鎌倉まちづくり協議会」☎22・4693

街角

思い出の写真、約25万枚焼く

写真供養感謝祭に300人

燃え盛る炎に、手を合わせながら写真を投げ入れる人、そっと涙ぐむ人。刻んできた人生の写真を燃やす9回目の写真供養感謝祭が、晩秋の11月5日、鎌倉の瑞泉寺であった＝写真。

北海道の知床から駆けつけた人ら、首都圏から約300人が訪れ、一時は長い行列ができた。ダンボール箱に入れ2、3千枚持ち込む人もいた。大下一真住職の読経の中、供養した写真は約25万枚にのぼった。

祖母が亡くなり、捨てられずに困っていた人、老夫婦二人だけになり、若いときの写真を始末しにきたなど、持参した写真へき思いはさまざま。炎の中に消えていく写真を見ながら、過去と決別できたのか、さっぱりした表情で帰途につく人が目立った。

CHINESE-RESTAURANT
大切にします……「心」からのおもてなし。
中国料理 華正樓（かせいろう）
●鎌倉店／鎌倉長谷大仏前 ☎0467（22）0280㈹ ●横浜中華街／本店 ☎045（681）2918㈹ 新館 ☎045（661）0661㈹

タクシーのご用命は24時間受付
TEL. 0467- 44-2214
京急交通タクシー

お香 香炉 香道具 匂い袋 高級線香 念珠 他
※香道・茶道・書道教室の生徒を募集しています
鎌倉に蘇える伝統の香り
香司 鬼頭天薫堂
鎌倉市雪の下1-7-5 小町通り八幡宮寄り
TEL. 0467―22―1081㈹

花キューピット 全国にお花を贈ります。
クリスマスギフト、ポインセチア好評販売中！
㈲ナカムラ生花（ヨイハナ）
鎌倉市材木座3-9-34 ☎0467-25-4187㈹ FAX 25-4188

本を通じ、皆様のお役に立ちたいと願っています。
雑誌・書籍・文具・事務用品・ファンシー
鎌倉駅東口前 ☎0467-22-0266
大船駅東口前 ☎0467-46-3841
逗子駅横浜銀行前 ☎046-871-6611
東逗子マルエツ店内 ☎046-871-0590
PATAYASE内 ☎0467-70-2771
島森書店

展示即売会場
2F貸画廊（75㎡）
3F貸教室
ギャラリー島森
●予約申込み・問合せ ☎0467（24）3160 島森商事㈱